

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	県営農業農村整備事業計画調査 太田地区			事業コード	1718
担当課等	所属名	農林部 農政課	担当係名		
	課長名	小原俊彦	担当者名	安齋牧人	電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	活力ある産業の振興	コード 5	施策	活力ある農林業の振興	コード 1
	基本事業	生産基盤の整備	コード 2	関連予算 費目名	一般会計 6款 1項 5目 農業基盤整備事業(003-01)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input type="radio"/> 単年度繰返 <input checked="" type="radio"/> 期間限定複数年度 ⇒ (17年度 ~ 22年度)					
事務事業の概要	<p>太田地区は、県営事業により基盤整備されたが、幹線水路や小排水路が経年劣化により老朽化が進行していることから、今後の台風時の水路決壊による農地等への被害防止や維持管理費を軽減し、農業経営の安定を図るため、県営事業導入のための計画調査費の一部を負担しているもの。</p>					
根拠法令等	土地改良法、県営農業農村整備事業の計画調査等に関する事務処理要領					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
<p>県営ほ場整備事業により基盤整備された主要幹線水路が築造後30年が経過し、大部分の施設が漏水や崩壊が進んできている。H16年度に調査対象地区を検討し、太田地区(鹿妻新堰と太田堰)が採択され、平成17年度と平成18年度に調査事業として実施することとなった。</p>						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
<p>土地改良区を含む地元受益者から鹿妻新堰と太田堰の改良について要望されている。</p>						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
<p>台風時の水路決壊による農地等への被害防止や維持管理費の軽減等により、農業経営の安定を目的とし、県営事業導入が強く求められている。当初は鹿妻新堰と太田堰の2路線を整備する計画であったが、国から鹿妻新堰と太田堰を分離して施工するよう指導されたことから、事業計画書の修正等があり、平成22年度まで延長されることとなった。</p>						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	幹線水路(鹿妻新堰、太田堰)	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 幹線水路の延長	単位	m
				B. 受益面積	単位	ha
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	<p>22年度実績(22年度に行った主な活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・負担金支出 ・計画策定協議 <p>23年度計画(23年度に計画している主な活動)</p> <p>なし 計画調査はH22までであり、H23から施設整備に係る事業が施行される。</p>	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 機能診断延長	単位	m
				B.	単位	
				C.	単位	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	県営事業を導入するため、主要幹線水路改修計画を策定する。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 機能診断率(機能診断延長/幹線水路延長) 【指標の性格:○上げる ○下げる ●維持する】	単位	%
				B.	単位	
				C.	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	生産性の向上が図られる 生活環境の改善が図られる	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	水田面積(単位:ha) 畑地面積(単位:ha) 樹園地面積(単位:ha) 民有林面積(単位:ha)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	幹線水路の延長	m	8342	8342	8342	8342	0	0	22年度
対象 指標B	受益面積	ha	772	772	772	772	0	0	22年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	機能診断延長	m	8342	8342	8342	8342	0	0	22年度
活動 指標B									年度
活動 指標C									年度
成果 指標A	機能診断率(機能診断延長/幹線水路延長)	%	100	100	100	100	0	0	22年度
成果 指標B									年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	867	742	750	676	0	0	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	867	742	750	676	0	0	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	867	742	750	676	0	0	*****
	延べ業務時間数	時間	80	80	80	80	0	0	*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	320	320	320	320	0	0	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	1,187	1,062	1,070	996	0	0	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 県営事業導入のために、県営農業農村整備事業費の一部を負担することにより台風時の被害防止や維持管理費の節減に貢献できる。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	理由: 県営事業として実施している事業であり、市の負担は妥当である。 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: 太田地区の幹線水路に絞った事業であり、現状で妥当である。
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: 老朽施設の改修は生産性の向上につながることから、現状で妥当である。
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 向上余地がない	理由: 調査事業の対象地域が太田地区に限定されるため。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 県営事業が導入できなくなり、台風時の水路決壊による農地等への被害や多大な維持管理費がかかる。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない	事業名: _____ ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない 理由:
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を節減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 調査費は応分の負担である。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 調査事業結果の検討、負担金の支出にあたっての必要な業務時間である。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 県において計画的に実施している調査事業である。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 県において計画的に実施している調査事業であり、負担金については県50%、市50%の負担割合で実施している。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革 改善 方向	①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること ②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む)
----------------	---

5. 課長意見

一次 評価	(1)一次評価者としての評価結果 ① 必要性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ② 有効性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ③ 効率性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ④ 公平性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり :	(2)全体総括(振り返り、反省点) 整備に必要な県の調査事業であり、市としても応分の負担はやむを得ないものである。											
今後 の 方向 性 と 改 革 改 善 案	(3)今後の事務の方向性(改革改善案) <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 終了</td> <td><input type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="2">→</td> <td><input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> <td><input type="checkbox"/> 改革改善を行う</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td><input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携</td> </tr> </table> <p>時期: 年度から</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>事業主体が県で市としては負担金支出のみの調査事業であり、23年度からの県営事業化に向けて22年度で終了したものである。</p>		<input checked="" type="checkbox"/> 終了	<input type="checkbox"/> 継続	→	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 改革改善を行う				<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携
<input checked="" type="checkbox"/> 終了	<input type="checkbox"/> 継続	→	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)										
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止		<input type="checkbox"/> 改革改善を行う										
			<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携										